

消防認定品

100V直流電源装置

長寿命リチウムイオン電池 **FORTELION** 搭載

災害に強い非常電源が登場
リチウムイオン電池で初めて消防認定を取得 (型式認定番号 16A8001)

◎鉛電池仕様に比べてサイズと重量が半分以下

ビル上層階にも設置ができる軽量コンパクト設計、
ゲリラ豪雨対策として上層階設置にお勧めです。



EPS-04040BT
(直流電源容量 4kVA, 定格蓄電池容量 40Ah)

◎建築構造負担もコストも軽減

軽量低重心だから耐震クラスS設計が楽にできます。
完成品を台車で搬入可能。重機などの搬入施工コストを低減します。
地下排水設備や建物構造対策コストを低減します。
既築更新なら建物負担軽減で耐震性が向上します。

◎装置全体の期待寿命 15 年

長寿命・高安全なリチウムイオン電池により15年間電池交換不要。
電池交換にかかる労力もコストも削減できます。

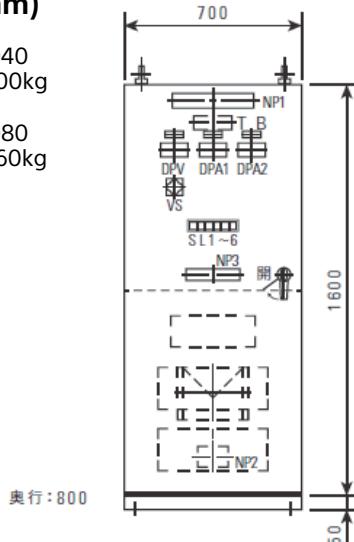
◎簡単で精度の高い蓄電池の寿命診断

BMUで蓄電池の状態を常時監視。日常点検の中で装置を稼働させたまま数分で精度の高い
寿命診断ができ、装置の計画的な運用・メンテナンスにつなげられます。

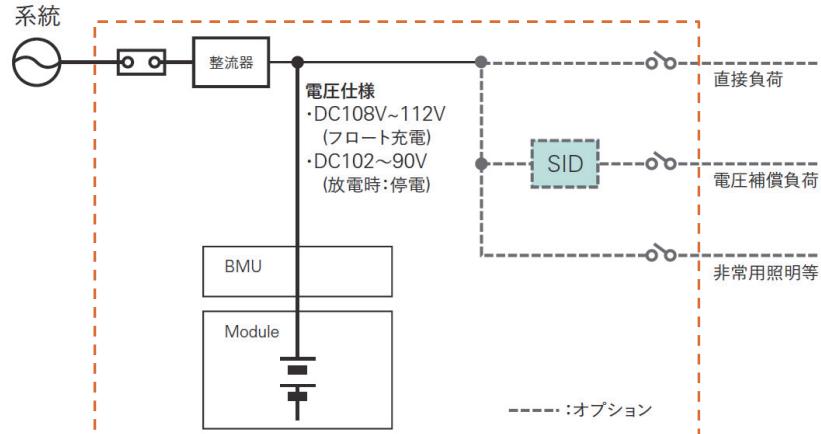
ラインアップ	機器構成	用途
DC100V 直流電源装置 (消防認定品)	<p>(株)富士電工製 整流器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源出力* : 4kVA, 8kVA ・入力 : 単相2線/三相3線 200V ・出力 : 直流 (DC) 100V <p>(株)村田製作所製 リチウムイオン蓄電池</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電池容量* : 4kWh(40Ah), 8kWh(80Ah), 16kWh(160Ah) ・オプション : <ul style="list-style-type: none"> AC100V交流出力インバータ <p>* 電源容量 / 電池容量など 更に大きなものは設計要求にあわせて お見積り製造致します</p>	<p>消防設備用非常用電源</p> <p>15年間電池交換不要 : 維持費低減 鉛電池に比較して、体積2分の1、重量3分の1 ビル上層階にも設置できる軽量コンパクト設計 ゲリラ豪雨対策⇒上層階への設置にお勧めです。 (水害から非常電源消失を防ぐ)</p> <p>その他</p> <p>受電盤等の制御電源 中央監視計装用電源</p>

■外形寸法(mm)

- EPS-04040
質量 約300kg
- EPS-04080
質量 約360kg



■構成図



■主な仕様

(型式末尾) S:単相入力モデル、T:三相入力モデルになります。

型 式	EPS-04040BS	EPS-04080BS	EPS-04160BS	EPS-08160BS		
	EPS-04040BT	EPS-04080BT	EPS-04160BT	EPS-08160BT		
消防庁登録機関 一般社団法人 日本電気協会 型式認定番号 16A8001						
直流電源容量	4kVA			8kVA		
定格蓄電池容量(1時間率)	40Ah	80Ah	160Ah			
入力電圧	単相2線式/三相3線式 AC200V 50/60Hz					
定格出力電圧	DC112.7V±2% (浮動充電) ※電圧調整可能(±3%)					
電源定格電流	40A			80A		
空冷方式	自然空冷					
効率	単相機:88%、三相機:90%					
蓄電池	オリビン型リン酸鉄リチウムイオン電池					
出力ブレーカー/数	10AT, 15AT, 20AT, 30AT, 50AT / 最大6出力*		10AT, 15AT, 20AT, 30AT, 50AT / 最大8出力*			
設置条件	屋内					
塗装色	5Y7/1半ツヤ					
外形寸法(幅×奥行×高さ)	700×760×1,650mm		1,200×760×1,750mm			
質量	約300kg	約360kg	約670kg	約680kg		
環境温度	-5~40°C					
オプション	・SID (15A, 30A, 60A) ・多出力対応盤 ・天笠 ・屋外キューピクル					

* 出力ブレーカーの容量と数を選択できます。最大出力数を超える場合は、オプションの多出力対応盤にて対応できます。
※電源容量/電池容量など、更に大きなものが必要な場合は、別途営業にご相談ください。

参考情報：鉛電池容量比較

型 式	MSE-50	MSE-100	MSE-200
鉛電池容量(1時間率)	32.5Ah	65Ah	130Ah

※リチウムイオン電池と鉛電池の放電容量差について

一般的な鉛蓄電池(MSE)は10時間率と1時間率で容量に差がありますが、リチウムイオン電池は10時間率と1時間率で容量差はほとんどありません。非常電源のように短時間で放電する場合でも、定格容量分をフルに活用することができ、電池導入コストを削減できます。

◎鉛電池(例:MSE)



◎リチウムイオン電池

